

## 絵本『鏡の中のぼく』 ～挑戦する自分になる①～

### 授業の流れ（45分）

ねらい→①日常生活の中で自分とコミュニケーションを取っていることに気付く。

### 導入（15分）

●講師自己紹介

●講師は親しみを持ってもらえるよう、呼んでほしい名前を伝える。

●絵本の読み聞かせ

●絵本を読む。

●絵本の感想

絵本の感想を自由に答えてもらう。

### 展開（25分）

●鏡の中の自分を作成

●絵本のぼくは、鏡の中の自分（友だち）と会話していたことを話す。

●自分との会話を発表

講師が鏡を見ながら、鏡の中の自分の会話をする。

●鏡の中の自分（もう一人の自分）への言葉を考える。

鏡の中の自分を意識してもらう。（学校の鏡などで）みんなにも鏡の中の自分が存在しているのかを確認してもらうことも可。

●発表

「一日のうちで一番お話をしている人って誰かな？」と問いかけ、実は自分なんだよということを伝える。

鏡の中の自分（講師自身）との会話の事例を話す。

（例）鏡の朝起きた時の話や、最初に鏡を見たときの様子など。

●みんなにも、鏡の中の自分（友だち）の顔を描いてもらう。

（名前をつけてもOK）

### まとめ（5分）

●次の授業は、今日、描いてもらった自分（友だち）とお話しをしてもらうよ。と次回の授業の内容を伝える。みんながどんなお話をしているか聞かせてもらうのを楽しみにしているねと伝える。